

東京センチュリー株式会社に対するシンジケーション方式による 「サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治、以下「みずほ銀行」）は、東京センチュリー株式会社（代表取締役社長：野上 誠、以下「東京センチュリー」）に対するシンジケーション方式によるサステナビリティ・リンク・ローン（以下「本件」）のアレンジャーに就任し、本日実行しました。

シンジケーション方式によるサステナビリティ・リンク・ローンを活用した資金調達はリース会社として初めてです（※1）。また、本件のコ・アレンジャーおよび貸付人は、責任投資原則（PRI）に署名し、ESG 投融資を推進する生命保険各社で構成されています。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の CSR 戦略と連携したサステナビリティ目標を設定し、金利などの借入条件をサステナビリティ目標達成に連動させることで、借り手に目標達成に向けたインセンティブを与え、環境・社会面において持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

本件は、サステナビリティ目標として「①京セラ TCL ソーラー合同会社の太陽光発電事業による年間発電量及び CO2 削減貢献量目標、②二国間クレジット制度（JCM）の想定 GHG 削減貢献量（累計）目標、および、③DX 認定（経済産業省）を維持すること」の達成を定め、その達成に応じて金利条件が変動するインセンティブを付与しています。

なお、本件は、株式会社日本格付研究所（JCR）から、ローン・マーケット・アソシエーション等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則、並びに環境省によるグリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（環境省ガイドライン）への準拠性と設定した目標の合理性について第三者意見（※2）を取得しています。

東京センチュリーは、事業の成長に挑戦するお客さまとともに、環境に配慮した循環型経済社会の実現に取り組んでいます。本件のサステナビリティ目標は、太陽光発電事業や二国間クレジット制度（JCM）を通じた低炭素社会および社会

インフラ整備への貢献に加え、持続可能な資源利用へ対応するものです。また DX 推進による技術革新に対応した新事業創出に資するものであり、東京センチュリーの実業戦略および環境施策に合致するものです。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとして知見を活かし、脱炭素化を推進する事業への助言や資金調達支援をはじめ、多様なソリューションの提供に積極的に取り組んでいきます。

＜本件の概要＞

融 資 先： 東京センチュリー株式会社
金 額： 225 億円
資 金 使 途： 運転資金
契約締結日： 2021 年 9 月 21 日
実 行 日： 2021 年 9 月 24 日
契 約 期 間： 5 年
アレンジャー： 株式会社みずほ銀行
コ・アレンジャー： 第一生命保険株式会社、明治安田生命保険相互会社、日本生命保険相互会社
貸 付 人： 住友生命保険相互会社、第一生命保険株式会社、大同生命保険株式会社、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、明治安田生命保険相互会社（五十音順）

※1：株式会社日本格付研究所（JCR）、株式会社格付投資情報センター（R&I）、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社、および環境省による公表資料確認ベース

※2：株式会社日本格付研究所（JCR）による評価レポートをご参照ください
(<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>)

以 上